

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、三和圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年7月31日（金）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：11人 関係機関：9人
場 所	南区役所 21 会議室
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 浜松市社会福祉協議会浜松地区センター長</p> <p>3. 役員について 会長・副会長を選出・承認された。</p> <p>4. 会長挨拶</p> <p>5. 自己紹介</p> <p>6. 協議内容</p> <p>① 令和元年度 年間報告について 生活支援コーディネーターより昨年度協議体会議について報告。</p> <p>②令和2年度 年間計画について ・年間4回開催する予定。 ※コロナウイルスの感染状況を見ながら、状況に応じて対応していく。</p> <p>③新型コロナウイルスによる自粛期間中の活動・生活について 〈ステイホームのなかで健康に過ごすポイント〉 ・フレイルについてのチラシをもとに地域包括支援センター三和より説明。 口腔ケア、栄養、日々の活動、運動、睡眠、排泄、受診・服薬、社会参加について。</p> <p>〈自粛中の地域の活動について〉</p> <p>○地区社協 家事支援…実施。 小学生の見守り…実施。 会合・サロン…実施するか迷う。迷ったときは開催しない方向で対応している。 実施についてはサロンごとに意見が違う。6月頃から再開している地区もある。 総会…三密を避けて実施。</p>

## ○民児協

定例会・研修・高齢者実態調査…中止。

訪問…中止、チラシをポスティングして対応。

相談…給付金の申請について相談があり、サポートをした。

10日前の郵便をまだポストに見に行っていない人もいる。近所からの情報提供が大切。心配なお年寄りのところには様子を確認しに行っている。

大雨が降ったときに“避難したい”と思ってもコロナの感染が怖くて避難ができない人がいる。

## ○自治会

会合（理事会など）…実施。

避難訓練（小学校と連携）…中止。

敬老会…イベントなしで実施。実施する自治会・実施しない自治会があり、実施しない場合は食事券などを配布することを検討している。

協働センターまつり…展示のみ実施する地区や中止にする地区がある。

納涼祭・運動会…中止する地区、規模を縮小して実施する地区などがある。

町内の旅行…中止。

成人式…何か違う方法で実施できないか検討している。

## ○南区協議会

会議…20名参加。4月は中止。5月以降は五島協働センターで実施。

地域力向上事業の田んぼアートについてや子どもたちの勉強会について等について話し合った。協働センターまつりの実施については実行委員会が決定する。

## ○シニアクラブ

活動…4～6月は中止。輪投げをやってほしいという声があった。

会わないと顔も忘れてしまうし引きこもりがちになってしまう。

再開しようと考えたが、浜松でコロナがまた流行ってきたので自粛した方がよいのかと考えている。

実施しているところは、マスク着用・検温を徹底している。

イベント…大会は中止。飲食とカラオケをなくした内容で実施を考えているイベントもある。

会長定例会…2か月間休みになったがその後は実施。

※サロンとシニアクラブの垣根を越えてともに活動できたらいいと思う。

### ○サロン

活動…中止。8月から再開しようと考えていたが90歳以上の人もいるため休みにすることを決めた。コロナが収束しないと活動を始める自信が持てない。いつも来ている人達の健康状態の把握をするようにしている。

### ○地域包括支援センター三和

相談…自粛期間中は少なかった。緊急事態宣言解除後は増加。

コロナにより心身ともに弱り、心に余裕がなくなっている人がいる。

今まで外出することで関係を保っていた人が外出自粛になったことで虐待につながってしまうこともある。

職場内の対応…県西部の人以外となるべく接しないようにしている。

### ○高齢者福祉課

公共施設…自粛期間中は閉鎖した。現在は開所しており今後閉める予定はない。

介護サービス…施設は継続。

相談…増加している。特別定額給付金の対応をしている課には連日相談が殺到。

### ○南区長寿保険課

区役所窓口…コロナで国保の関係の申請が増えており来庁者が増加。

ふれあい交流センター…自粛期間中は閉めていたが現在は開所。元気はつつ教室は継続。利用者の間隔を維持・マスクを着用・換気を徹底・半数の人数で実施している。15歳以下の子どもも利用できるようになったがコロナ禍で周知が進まない。

### ○コミュニティソーシャルワーカー

特例貸付の相談がかなり増えている。元々生活に苦しさを抱えていた人たちが沢山いるのだと感じる。子ども達もストレスを感じているという話をきくので、地域の支えが必要だと感じる。

〈自粛期間中のご自身の生活について〉

健康・ストレスについて

〈感じた問題〉

- ・リフレッシュできない。子どももストレスが溜まっていると思う。
- ・コロナ太りになった。

〈工夫したこと〉

- ・妻とウォーキング等に行った。
- ・家でお酒を飲むようにした。

- ・短時間でも良い睡眠がとれるように遅寝遅起きを心がけたい。
- ・子どもが東京にいて会えないためテレビ電話をした。東京の家族は家の中での遊び方を工夫して過ごしている。孫におもちゃを送ったりしている。

#### 生活習慣について

- ・食事は家で作ることが基本になった。
- ・テレビに“おはよう”と“おやすみ”を言っている。

#### 趣味について

- ・ウォーキングの会は3~6月が休みだった。岐阜旅行は大雨で中止。健康が心配。
- ・飲み会等に行くのを減らしたりやめたりしている。
- ・家でドラマを観たり、五目並べをしたり、緑のカーテンを作ったりした。
- ・登山が趣味だが、山が閉鎖になり行けない。
- ・ゴルフは外だから比較的安全だと思う。コンペは中止。食事は屋外でしている。
- ・スポーツジムに通っている。
- ・シャッターの塗料の塗り替えや草取りをした。

#### 周囲の状況について

- ・6月後半、街中の飲み屋街に若者が沢山いたのを見て心配になった。
- ・隣町でコロナ感染者が出たとたん、隣町の人への態度が冷たくなった。
- ・病院に勤務している人はホテルを取って家族と別居している人もいる。
- ・子どもたちの夏休みが2/3になった。テレビ電話を使って勉強している。

〈集まらずに地域でつながる工夫について〉

- ・生活支援コーディネーターよりコロナ禍で他市町が工夫している活動について紹介

#### 7. 次回開催予定

9月29日（火）9：30～11：00 五島協働センター ホール

#### 8. 連絡事項

なし

#### 9. 閉会 副会長よりまとめの言葉

今後の見通し等

今回まで地域の活動・状況の情報共有を主に行ってきた。今後はテーマを絞り、具体的に地域課題を検討していく。